

東教育財団だより

発行所
公益財団法人
東教育財団
大阪市中央区南本町
2丁目2番11号
堺筋本町西尾ビル6階
電話 06 (6262) 7363
FAX 06 (6227) 8068
発行責任者 北井 保行

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



令和五年度の 助成事業を 募集します

募集します

東教育財団では、中央区内の学校教育及び社会教育の育成、並びに、地域文化の振興に寄与するため、学校教育活動、社会教育・生涯学習活動、並びに、地域文化・まちづくり活動に助成を行っております。

令和五年度の助成事業については、十月十二日開催の理事会において、募集要項、広報、募集日程等を決定しました。その概要は次のとおりです。

申請受付期間

令和五年度助成事業の申請受付は、**二月十日(金)から、二月十八日(火)まで**です。

※なお、申請の事前相談は随時受付けています。

助成対象事業

① 学校教育事業助成

中央区内の学校教育の充実・発展に寄与し、かつ、当該学校の独自性や特性を持つ事業

参考事例

- 地域の歴史、伝統、文化、産業等に関する調査・学習事業
- 右記の調査・学習によって作成した冊子等の発行事業
- 外国につながるのがある児童生徒への日本語等指導事業
- 姉妹校交流事業
- 伝統芸能(文楽、能等)鑑賞・学習・発表事業
- 校内緑化等自然環境整備事業



「学校教育事業助成説明会」

② 社会教育生涯学習事業助成

- クラブ活動に必要な用具・資材の購入・貸与事業
- クラブ活動の地域交流事業
(例：吹奏楽部が開催する地域コンサート)
- クラブ活動等における全国大会等への参加事業
- 学校周年記念事業(十周年等特別に実施する周年事業に限る)

中央区内の社会教育や生涯学習の充実・発展に寄与する事業

ただし、営利を目的とする事業はこの限りでない。

③ 地域文化まちづくり事業助成

中央区内の地域文化や地域まちづくりの振興に寄与する事業

ただし、営利を目的とする事業はこの限りでない。

助成対象団体

① 学校教育事業助成

大阪市内に所在する公立の幼稚園、小学校及び中学校

② **社会教育・生涯学習事業助成**
大阪市内に所在する社会教育・生涯学習の活動を行う社会教育団体及び生涯学習団体



「社会教育・生涯学習事業助成説明会」

③ **地域文化・まちづくり事業助成**
大阪市内に所在する地域文化・まちづくり活動を行う団体

助成対象となる経費

事業の実施に直接必要となる経費

なお、助成金を助成対象事業以外の目的に使用することはできません。

助成限度額

令和五年度予算（三月の理事会・評議員会で審議予定）で定めます。



「地域文化事業助成説明会」

なお、令和元年十月九日開催の理事会において、令和二年度以降の助成基準及び限度額は、令和元

年度と同様とすることが承認されています。

申請時提出書類

所定の「助成申請書」に次の書類を添付して申請受付期間内に提出してください。

- 事業計画書
- 収支予算書
- 団体の定款・規約等、役員名簿、直近年度の事業・決算報告書（学校教育事業助成は不要）
- 実施予定の事業を紹介するパンフレット、新聞・雑誌の記事コピー等

審査・選考

助成金審査会において公正・公平に審査・選考を行い、理事会において最終的に助成先及び助成金額を決定します。

選考の結果は、決定後速やかに申請者に文書で通知します（四月下旬予定）。なお、選考結果の理由等に関する問い合わせには一切応

じられません。

実施報告

助成対象事業終了後二十日以内に、所定の「実施報告書」に次の書類を添付して提出してください。

- 事業報告書
- 収支決算書
- 支出を確認できる領収書の写し
- 助成対象事業の写真等事業実施状況を確認できる資料



「地域まちづくり事業助成説明会」

大阪の街を行く ―大正ロマン建築―

江戸時代の大坂は、町人のまちとして栄え、諸国物産の集散地として「天下の台所」と呼ばれ、近世日本の金融・国際貿易の中核であり、我が国最大の経済都市であった。

また、明治、大正、昭和前期にかけての大坂は、近代紡績業を中心とするモノづくりの町として発展し、東洋のマンチェスターと称され、「煙の都」の異名を持っていた。

大阪は、大正後期から昭和初期にかけて、人口・面積・経済力が日本一となり、東京を凌ぐ大都市になった。多くの会社やビルが建築されて建ち並び、俗に「大大阪時代」と呼ばれていた。船場は大大阪時代に発展したエリアであり、現在もそのころの建築が多く残っている。

中央区船場に残るレトロ口でモダンな建築物を探ってみた。



① 大阪市中央公会堂 大阪の近代建築の代表と言える中央公会堂であるので、北区中之島に所在するが、最初に取り上げる。

・ 北区中之島一丁目に所在する集会施設



・ 大正七（一九一八年）、株式仲買

人岩本栄之助の寄付金（百万円）で建設

・ 辰野金吾・片岡安が実施設計。
鉄骨煉瓦造地上三階・地下一階建て。意匠はネオ・ルネサンス様式を基調としつつ、バロック的な壮大さを持つ。

・ 日本有数の公会堂建築であり、外観・内装ともに意匠の完成度が高く、日本の近代建築史上重要なものとして平成十四（二〇〇二）年、国の重要文化財に指定

② 三井住友銀行大阪本店 現在

は三井住友銀行大阪本店になって
いるが、元は、旧住友銀行大阪本店である。

・ 中央区北浜四丁目、通称「住友村」にある住友財閥の拠点として建てられた建築物

・ ビル建設に当たり十五代当主住友吉左衛門友純は、住友本店に設計部門（現在の日建設計）をつくり、主体工事は大林組が請負った。

・ 工事は二期に分けられ、第一期（北側は大正十五（一九二六）年、第二期（南側は昭和五（一九三〇）年に竣工し、住友ビルディングは完成した。

外壁が淡いクリーム色の堂々とした大規模な建築物で、イオニア式と呼ばれる神殿風の石柱を配し

た玄関や米国製ガラスを使った内部天井のステンドグラスなど重厚で端正且つ上品な印象を与える。
・ 終戦直後、GHQは同ビルの五・六階を接収して、第六軍第一軍団の司令部を置いた。



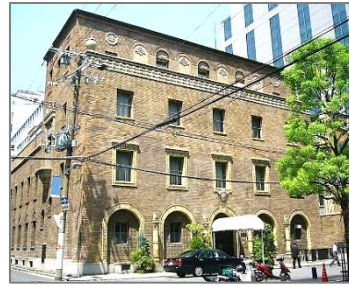
③ 大阪倶楽部 大阪倶楽部は、

大正元（一九一二年）年に設立された中央区今橋四丁目に所在する会員制社交クラブ

・ 大正三（一九一四年）に住友本店の設計部門が設計し創建された旧館が大正十一年に失火のため焼失し、大正十三（一九二四年）に現在の建物が再建された。

・ 設計は片岡安設計事務所の安井武雄。素焼きタイルの外壁に、石

のアーチなど南欧スタイルを取り入れつつ、トーテムポール風の石柱や唐草の縁取りなど細部の彫刻には東洋・中東のモチーフが施され、安井の自由形式の代表例とされる。



④ 日本基督教団浪花教会

日本基督教団浪花教会は、明治十(一八七七年)に創立された日本初の自給(海外からの援助を受けない)教会「浪花公会」であった。※当時は教会ではなく「公会」という言葉が使われていた。
・中央区高麗橋二丁目に所在する現在の教会堂は、昭和五(一九三〇)年、ヴォーリズ建築事務所の指導で、竹中工務店の設計・施工により建設。三休橋筋に面して建つ。
・ゴシック様式の尖塔窓と黄色や緑色の色ガラスで飾られ、意匠性の高い塔屋を持つ地上三階の建物。



⑤ 青山ビル

青山ビルは、中央区伏見町二丁目に所在する歴史的建造物

・大正十(一九二二)年に個人の邸宅としてスパニッシュスタイルで造られた。甲子園球場から株分けされた蔦で覆われ、一階には老舗の喫茶店が入っている。



⑥ 伏見ビル

伏見ビルは、中央区伏見町二丁目、青山ビルの西側に隣接する、八十年の歴史を持つ

テナントビル

・大正十二(一九一三)年に長田岩次郎の設計で「澤野ビル」として建設。コーナーに丸みのある外観が特徴の鉄筋コンクリート造三階建てで、当時としてはめずらしいホテルとして人目を引いた。



・昭和のはじめ頃、ビルの所有者が替わり、建物はホテルからテナントビルとなった。現在でも、事務所やフランス料理店が入居するビルとして賑わっている。

⑦ 芝川ビル

芝川ビルは、中央区伏見町三丁目に所在する歴史的建造物

・昭和二(一九二七)年の竣工。基本設計は渋谷五郎、意匠設計は本間乙彦、施主は不動産業の芝川又四郎。関東大震災を踏まえ、耐震・耐火性に富む鉄筋コンクリートを導入。

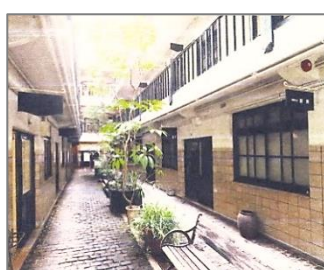
・戦前までは「芝蘭社家政学園」

(花嫁学校)、現在は高級チョコレート店やオシャレなパン屋が入るテナントビル



⑧ 船場ビルディング

中央区淡路町二丁目に所在する歴史的建造物



・大正十四(一九二五)年建築のオフィスと住宅を併せ持つ革新的な建物。設計は村上徹一。竣工直後は住宅も存在し、馬車等も入れる機能性重視の設計

(槇野 勝・記)